

迅速かつ的確なコロナ対策を

徳田 修和 議員



問 特別定額給付金や事業継続支援金の対応について、視覚障がい者への対応は万全か。

答 音声と手話による説明動画を掲載するとともに、民生委員の方々に、申請が困難な方への協力をお願いしている。

ことができるよう、検討していく。

問 学校の臨時休業に対し、児童クラブは朝から開所した。現場から、支援員の人員確保に関する要望書も出ているが見解はどうか。

答 臨時休業期間は、小学校教職員の派遣や、自習室の開放により負担軽減を図ってきた。人員確保については、引き続き、運営支援を通じ充実に図りたい。

問 飲食店エールプロジェクトは、チケット利用期間において現金収入が減るため、今後の経営継続が危惧される。新たな支援も在りえるのか。

答 チケットを利用する際は、集中して使用しないよう一定の配慮を求めている。感染拡大の防止対策を講じながら、県民の動向を注視し、経済状況に応じた対策を講じる



詳しくはこちら

新型コロナウイルス感染症による第2波への備えを万全に

久保 史睦 議員



問 支援策、対応策の周知をホームページでというが、高齢者はわかりにくい。相談窓口がわからず困っている市民も多い。今後、総合案内窓口が必要ではないか。

答 現在、専門分野ごとに対応している。窓口が密にならないようという課題も踏まえ、どのような形が市民にとって相談しやすいか検討しながら進めていきたい。

問 市主催予定で中止になった事業で、不用が確定した予算総額はいくらか。その活用策の検討内容はどうか。

答 予算総額と補助金支出分まで含めると1966万4千円が不用額となる。

問 市主催予定で中止になった事業で、不用が確定した予算総額はいくらか。その活用策の検討内容はどうか。

答 本年9月1日からの運用開始に向け準備作業を進めている。市の広報誌等を通じ周知に努めている。



詳しくはこちら

医師会と連携し新型コロナウイルス感染症の予防を

新橋 実 議員



問 第2波、第3波に備えてインフルエンザワクチン接種を市民に勧めることで、インフルエンザの抑え込みができ、新型コロナウイルスの発症者の早期発見に繋がると思うがどうか。

答 ワクチンを接種していても発熱や咳など症状が現れることがあるため検査は必要である。インフルエンザの発病を予防することや発病後の重症化及び死亡リスクを抑える一定の効果もあるため、多くの市民に予防接種を受けてもらえるよう始良地区医師会と連携していく。

問 第2波、第3波に備えてインフルエンザワクチン接種を市民に勧めることで、インフルエンザの抑え込みができ、新型コロナウイルスの発症者の早期発見に繋がると思うがどうか。

問 国道220号からの出入は非常に危険な状況だが、今後信号機設置など考えているのか。

答 国道220号を通行する車両も多く、この区間は昨年の早い段階から国に対して抜本的な改良を要望している。国道事務所とも協議している。



詳しくはこちら

若い力で新たな観光戦略を

愛甲 信雄 議員



問 霧島高校の観光マネジメントコースの学びを活かせないか。

答 霧島高校や観光協会等の関係機関と更なる連携を図るとともに、本市の観光振興に資する効果的な取組を実施していく。

未来館からの脱退交渉等の進捗状況は

問 横川牧園地区の市民サービスを低下させないための対策の検討状況はどうか。

答 同地区の方々のごみを直接搬入する際の手間を、集約後においても現状と同等程度とするために、「直接搬入ごみの収集所」を新設する検討を



詳しくはこちら

子宮頸がん予防ワクチンの接種率向上を

鈴木 てるみ 議員



問 子宮頸がんが年々増加している一方で、予防ワクチンの接種率は激減している。中学1年から高校1年の女子が接種対象であるが、対象であることを知らないうちに無料期間を過ぎていく可能性がある。期限が迫っている高校1年女子へ「助成期間終了のお知らせ」を送付してはどうか。

問 風しんは、妊娠初期の女性が感染すると胎児に甚大な影響がある。感染拡大を防ぐため昨年7月より、無料で抗体保有率の低い年代へ抗体検査が行われている。受検率はどうか。

風しんから市民の命と未来を守るために

答 令和元年度は昭和47年度から53年度生まれの男性が対象であり、抗体検査の受検率は21・2%であった。今後も受検率向上に努める。



答 ワクチンと副反応の因果関係が明確になるまで、国の指導に従い対象



詳しくはこちら

竹子地区に地域おこし協力隊が赴任

松元 深 議員



問 竹子地区の地域おこし協力隊配置事業の進捗状況はどうか。

答 4月からホームページなどを活用し、募集を開始した。5月末までに8名の応募があり、1名を選考した。8月1日より竹子地区内に居住予定である。地域が主体となった新たな視点も取り入れながら、移住・交流促進など地域活性化に取り組んでいく。

北薩横断道路溝辺道路早期着工に期待

問 北薩横断道路の事業化が決定したが、野坂から空港までの実施整備計画はどうか。

答 北薩横断道路の未整備区間14kmを溝辺道路として事業着手することになった。路線については地域の意見も反映して、これから具体的に検討していく。



竹子の里 きらく館

その他の質問
・農林水産業振興について



詳しくはこちら